



再生可能エネルギーで ここまでできる



地球温暖化を防ぐため、
脱炭素社会を急いで実現
しなくては

再生可能エネルギーで、
こんな未来が描けるのでは

水力、バイオマス、太陽光、...
再生可能エネルギーで
元気な地域をヒントに
してみよう



二酸化炭素を
出さない社会は
本当にできるの？

いろいろ節約しないと
いけないんじゃない？
なんか堅苦しそう。

再生可能
エネルギーって
高くない？



「プラチナ社会へのイノベーション」 ～再生可能エネルギーで、ここまでできる～(仮)

低炭素社会戦略センター センター長 小宮山 宏

「村の資源で村発のベンチャーを」

岡山県西粟倉村役場 地方創生特任参事 上山 隆浩

「再生可能エネルギーの地産地消で元気な地域経済を」

浜松市役所 産業部エネルギー政策担当参与 内山 幸久

「地域のバイオマスで特産品を」

久慈バイオマスエネルギー株式会社 代表取締役 日當 和孝

モデレーター 低炭素社会戦略センター 研究統括 森 俊介
総合司会 低炭素社会戦略センター 副センター長 越 光男

入場
無料

11月17日(日) 10:00～11:15
テレコムセンタービル1F センターステージ (受付は9:40～)

参加申込: <https://www.jst.go.jp/lcs/relations/events/agora20191117.html>

〆切: 11月7日



■パネリスト（五十音順）

うえ やま たか ひろ
上山 隆浩

岡山県西粟倉村役場 地方創生特任参事

「百年の森林構想」「環境モデル都市構想」「バイオマス産業都市構想」を掲げ西粟倉村内の地域資源を活かしながら地域活性化に取り組む。

また、村の地域資源を活用した新たな地域経営モデルの構築に向けローカルベンチャー（地域を舞台として価値創造に挑戦する事業体）の発掘と育成に力を注いでいる。令和元年度SDGs未来都市（内閣府事業）に選定された。



うち やま ゆき ひさ
内山 幸久

浜松市役所 産業部エネルギー政策担当参与

浜松市は、東日本大震災を契機として電力自給率や再生可能エネルギー導入量を、2011年度の約5倍にすることなどを目標に掲げた。太陽光発電の導入量（10Kw以上）は1,741市区町村でトップ（2019年3月現在）。地域内外の企業とともに「株式会社浜松新電力」を設立し、2016年から電力供給を開始。再生可能エネルギーの地産地消を通じて市内経済の活性化を推進している。



ひ なた かず ゆき
日當 和孝

久慈バイオマスエネルギー株式会社 代表取締役

製材の過程で生じる樹皮の廃棄物を燃料化する技術を開発し、キノコ栽培農園への熱供給によりキノコの高品質化に貢献するとともに、廃熱で乾燥させたウッドチップを温水プール向けに供給することで収益性及び久慈市内の再生可能エネルギー比率を向上させた。これらの取組により、久慈バイオマスエネルギー（株）・東芝インフラシステムズ社・久慈市が、平成30年度新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞を受賞した。



■キーノート・スピーチ、コメンテーター

こ みやま ひろし
小宮山 宏

低炭素社会戦略センター センター長、東京大学 第28代総長、
三菱総合研究所 理事長、プラチナ構想ネットワーク 会長

専門は化学システム工学、地球環境工学、機能性材料工学、CVD反応工学。地球温暖化問題の世界的権威。

LCSにて、定量的な技術・経済データに基づく「明るく豊かな低炭素社会」のビジョン構築と、その実現のための社会シナリオづくりを推進。



科学技術振興機構は、「持続可能な開発目標（SDGs）」への科学技術イノベーションの貢献（STI for SDGs）という視点から積極的に活動しています。本シンポジウムもその一環として、SDGsの達成への貢献を目指しています。



本イベントは、東京2020応援プログラムに認証されました。